

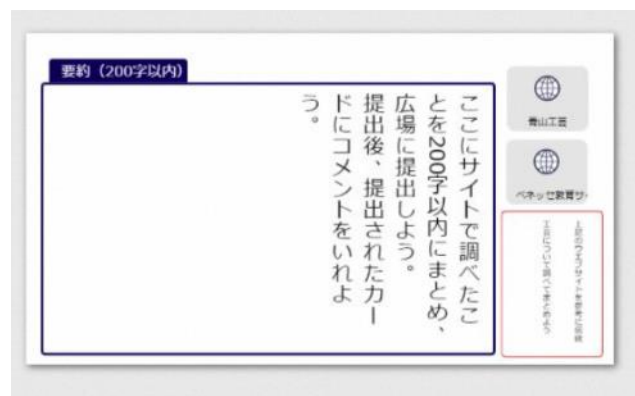
汐見小学校 4年 国語 「世界にほこる和紙」

授業のねらい

- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。

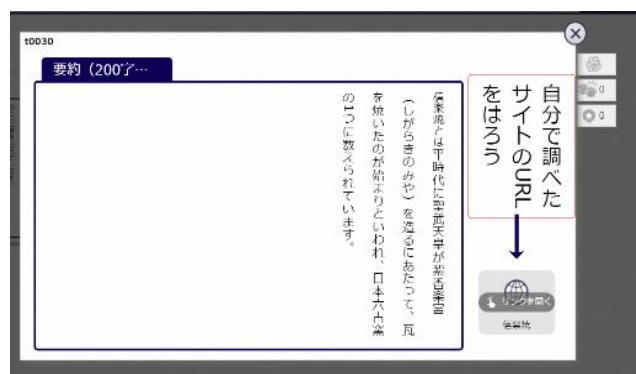
I C T 活用の工夫

- 教科書の教材文「世界にほこる和紙」の要約文や自分で調べた伝統工芸について、200文字以内の要約文をムーブノートを活用してまとめる。
- 自分で調べた伝統工芸について、ムーブノートを活用して意見の交流をする。



児童の様子

- 教科書を見ながら各形式段落や、意味段落の内容を精査した。
- ノートにまとめたこれまでの学習の叙述に即した要約を基にして、文章全体の要約文を作成していた。
- 学習を発展させ、その他の日本の伝統工芸品について自分で調べて、要約文を作成していた。



成果

- 文字を書くことに抵抗のある児童や、日頃、キーボードでローマ字入力に難しい児童にとっても、音声入力で文字を書き込むことができ、これまで以上にスピーディーに文章を書き終えることができ、児童の達成感や充実感につながった。
- 「いいね」のサインを互いに示すことで、要約文のまとめ方が分かりやすい児童へのタブレット上での情報交換や共有が可能となり、学びの意欲の深まりへとつながった。

課題

- 教科書の教材文の要約文を作成するのに精一杯の児童が半数近く見られた。